



さいたま市

# 西区 火の用心

発行 お問い合わせ  
さいたま市西消防署  
西区西大宮3丁目48番地  
TEL 048-625-2861  
FAX 048-625-2818

## 火災発生状況（概数）

		令和5年	令和4年
西 区 内	建物火災件数	13件	18件
	（うち住宅火災）	9件	13件
	火災による死者	1人	3人
	火災による負傷者	7人	6人

令和5年は12月5日までの件数

住宅火災の出火原因(令和4年中・さいたま市内)		
1位	こ ん ろ	26件
2位	た ば こ	19件
3位	電 気 機 器	12件
3位	電 気 配 線	12件



火災シーズン到来！火災に注意しましょう！

令和4年中西区では18件の建物火災が発生し、そのうち住宅火災は13件でした。令和5年は、12月5日の時点で建物火災が13件、うち住宅火災が9件と昨年より減少傾向であるものの建物火災の多くが住宅から発生していて、死者、負傷者も発生し、負傷者数は昨年の人数を上回っています。住宅火災の原因ではこんろ、たばこに続いて電気機器、電気配線と電気に関連する火災が多くなっています。住宅火災はちょっとした不注意や取り扱いの間違いで起きることが多く、十分注意していただければ多くの火災を防ぐことができます。住宅火災の予防にご協力をお願いします。

火災シーズン到来！火災に注意しましょう！

・野焼き等の燃焼行為のパンフレット



・火災の原因事例（動画）  
・住宅防火の手引き（日本語・外国語）

住宅火災は普段の生活で使用している電気や火気の取扱いの不注意や不始末から発生していますが、私たちが効果的な防火対策を行えるように普段の生活から対応策を講じましょう。

住宅火災の発生原因やメカニズムを理解する事によって未然に火災を防止できます。

また、全国的に見ても野焼きから延焼した火災が多く発生しています。

左記のQRコードからさいたま市ホームページに掲載されている火災の原因として多い事例の動画、住宅防火の手引き（日本語版、外国語版）、野焼きなどの燃焼行為の各リーフレットにリンクしますのでぜひご利用ください。

私たちが出来る住宅火災予防



地震に対する口頭の備え

地震が発生した時、被害を最小限におさえるためには、一人ひとりが冷静かつ適切に行動することが重要です。そのためには口頭から地震に備え、自分の身の安全確保や非常持出品などについて、家庭で取組をすすめていくことが大切です。

1 家庭での防災会議

地震の時には、まず自分の身の安全確保を第一に考え、また家族が慌てず落ち着いて行動できるように口頭から話し合い、情報を共有しておきましょう。

2 家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれで被災した時のことを考えてお互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

3 備蓄品・非常持出品を備える

地震が発生すると普段とおりの生活ができなくなることも考えられます。数日間生活できるだけの水や食料品などの『備蓄品』を準備しておきましょう。地震の被害によっては、避難を余議なくされることもあります。避難する時に持ち出す『非常持出品』を常備しておきましょう。

4 防災活動への参加

地震に備え、防災訓練などの地域の防災活動に積極的に参加しましょう。

消防団員を募集しています！

消防団員

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

主な活動は、火災等の災害現場活動の他、火災予防広報や消防訓練・応急手当の指導を行っています。

西区では、現在4消防分団（指扇・馬宮・馬宮西・植水）総勢76名（12月1日現在）の消防団員が活動しており今後は「指扇地区」に1分団増強し、5消防分団体制となる予定です、さらなる増員を図っています。



入団資格：市内在住、在勤又は在学の18歳以上の健康な方

少年消防団員

少年消防団は、消防署で防火・防災に関する研修や訓練、消防出初式やイベントなどで火災予防広報を行っています。西区では現在20名が活動しています。ぜひ一緒に活動しましょう。



敬礼！ ピシッ！

みんな まってるよ！

入団資格：原則として市内在住又は在学の

小学4年生から高校3年生まで